

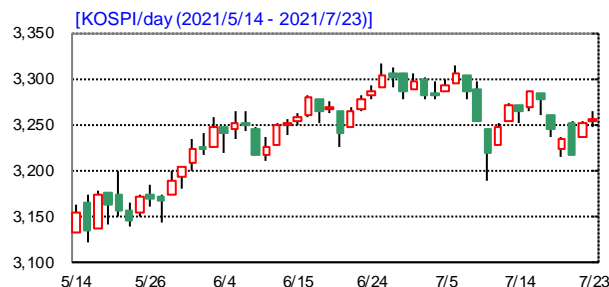


## 【韓国】 総合指数は週間で0.7%安と反落、今週はサムスン電子の決算に注目

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.7%安と反落。新型コロナウイルス感染の急拡大で世界の経済回復が遅れるとの懸念が広がり、投資家が運用リスクを取りにくくなった。先週末の16日から21日まで4営業日続落。多くの国が感染力の強いデルタ株の抑え込みに苦戦する中、韓国政府は21日、同国の新規感染者数が過去最多になったと発表。同日終値は心理的節目の3200ポイントに接近した。22-23日は一転して連騰。米国のハイテク株高に加え、米韓両国で企業の好業績予想が広がり、投資家心理が改善した。今週は神経質な展開か。半導体大手の業績が注目の材料となりそうだ。27日にSKハイニックス、29日にサムスン電子が21年4-6月期決算を発表する予定。週内に韓国の4-6月期GDP速報値と6月の鉱工業生産も発表される。

### ▼指数チャート

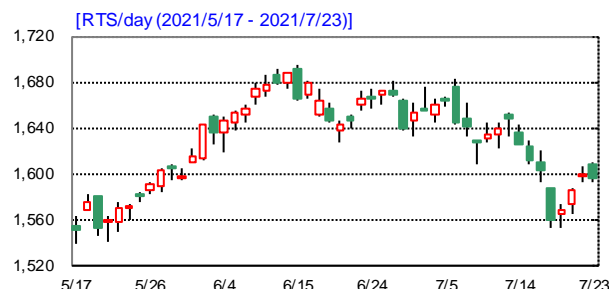


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で0.5%安と4週続落、今週は神経質な展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.5%安と4週続落。原油安、欧米株安を受けて週初に大幅安となったが、その後反発し、下げ幅を縮めた。週明け19日は前週末比2.7%の大幅安。ブレント原油が6.5%下落したことや欧米株安が重しとなった。その後は原油相場と欧米株の反発でRTS指数も20-22日に3日続伸したが、前週末の水準に届かなかった。ブレント原油相場は前週末の73.59ドルから19日に一時67.75ドルまで下落し、23日は74.10ドルで取引を終えた。個別では鉄鋼のセヴェルスターリが4.4%、ノボリペツク製鉄所が3.0%上昇した一方、エネルギーのスルグトネフテガスが3.5%、ロスネフチが3.0%、タトネフチが2.2%下落し、産金のポリュスは2.9%安。今週は原油相場や欧米株の動きをにらんだ神経質な展開か。

### ▼指数チャート



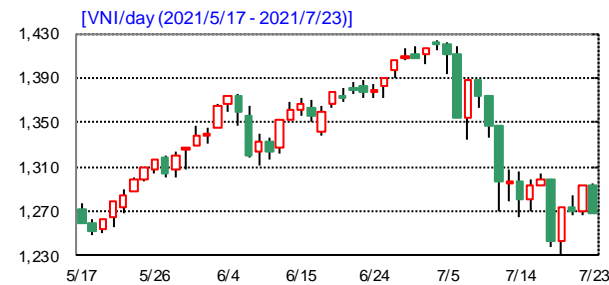
## 【ベトナム】 ベトナム指数は2.3%安と3週続落、今週は押し目買い通じた反発に

### 期待

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は2.3%安と3週続落。新型コロナウイルス変異株（デルタ株）の感染拡大が嫌気され、週初に大幅安となると、その後も海外勢の売りが上値を抑えた。週明け19日は前週末比4.3%の大幅安。デルタ株の感染拡大でセンチメントが悪化した。ベトコムバンクなどの金融株に利益確定売りが強まり、軒並み安。20日はVN指数が2.4%高と反発し、22日も1.8%上昇したが、23日は海外勢の売りに押され、1.9%下落した。VN指数は前週末の1299.31ポイントから20日に一時、2カ月半ぶり安値の1225.52ポイントまで下落し、1268.83ポイントで週を終えた。個別では金融のベトインバンクが6.2%、ベトナム投資開発銀行が5.4%、ベトコムバンクも5.4%下落し、指数を押し下げた。今週は押し目買いで反発が期待される。

### ▼指数チャート



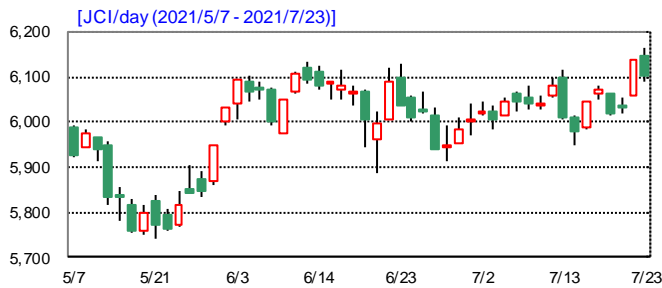


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.5%高、今週は 29 日に決算発表が集中**

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 0.5%高と 5 週続伸。おおむね堅調な値動きで、週後半に終値で 6100 ポイント台に乗せた。週初の 19 日は新型コロナウイルスの感染による死者数の増加が嫌気され、指数は 3 営業日ぶりに反落。一方、巡礼の日の休場を挟んだ 21 日に反発すると、22 日は前日の NY ダウの上昇に連動して金融株とエネルギー株が指数上昇をけん引し、終値で前日比 1.8%高と約 4 カ月ぶりの高値を更新した。ただ、23 日は 3 日ぶりに反落して引けている。今週は 29 日に集中する 4-6 月期の企業決算の内容が指数を左右する展開か。前週末の NY ダウが過去最高値を更新した効果も期待される。

### ▼指数チャート

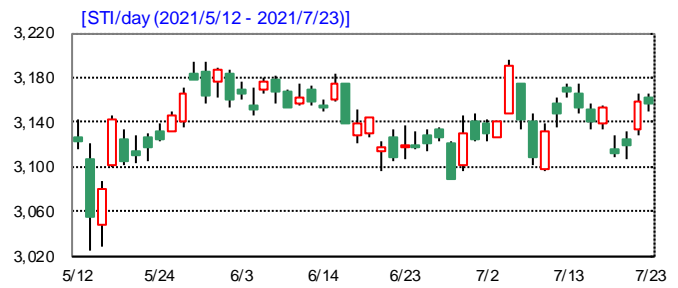


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.2%高、今週は 6 月の鉱工業生産が焦点**

ストレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 0.2%高と 4 週続伸。売り買いが交錯した 1 週間だった。週初の 19 日は、新型コロナウイルスの感染者増加を受けて、同日から規制が再強化されたことが売り材料視され、指数は前営業日比 1.3%安と反落。一方、祝日を挟んだ 21 日に買い戻されると、22 日は前日の NY ダウが続伸した流れを引き継ぎ、前日から 1.3%上昇した。ただ、23 日は買い材料に乏しく小幅に反落して取引を終えている。今週は 26 日発表の 6 月の鉱工業生産に対する市場の反応が焦点。外部要因では 27-28 日開催の米 FOMC と 29 日発表の米国の 4-6 月期の GDP 速報値が注目されそうだ。

### ▼指数チャート

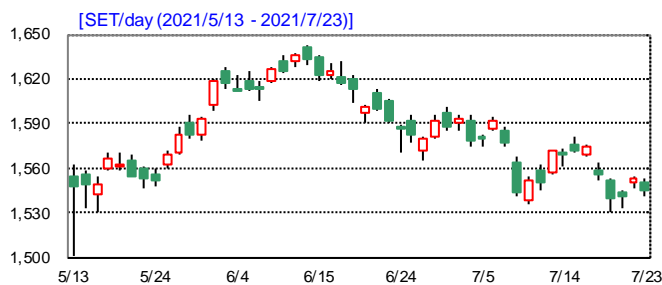


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.9%安、原油先物価格の下落が痛手**

SET 指数は週間で 1.9%安と反落。週前半の下落が響いた。19 日は新型コロナの感染拡大に加え、前日の OPEC プラス閣僚会議での減産縮小合意を受けて原油先物価格が急落した影響で、指数は前営業日比 1.2%安と 3 日ぶりに反落。20 日は近隣市場が休場となる中、エネルギー株を中心に売り優勢の展開が続き、前日比 1.1%安と続落した。ただ、21 日に小幅反発すると、22 日は 4-6 月期の国内銀行の決算内容がおおむね堅調だった効果で続伸。23 日は反落して引けている。今週は 30 日に 6 月の鉱工業生産が発表される予定。26 日はアサラハプーチャ（三宝祭）の振替休日、28 日は国王誕生日のため休場。

### ▼指数チャート

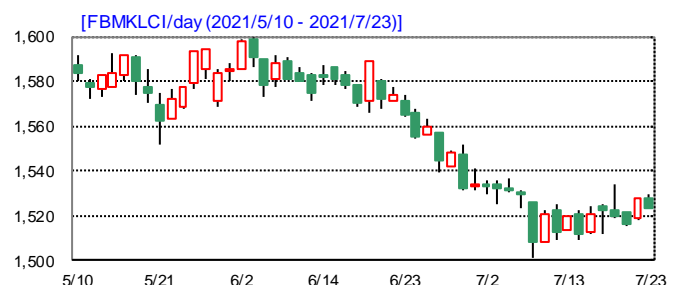


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.1%高、今週は 26 日再開の連邦議会に注目**

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.1%高と小幅続伸。狭いレンジでの値動きが続いた。週初の 19 日は利益確定売りで 3 営業日ぶりに小幅反落。祝日を挟んだ 21 日は、デルタ株の世界的な感染拡大を受けてゴム手袋メーカー株が買われたものの、銀行株やプランテーション株の下落が響き続落した。22 日は前日の NY ダウが好決算銘柄の値上がりで続伸した流れを引き継ぎ、3 営業日ぶりに反発したが、23 日は新型コロナの感染者数の高止まりが嫌気されて反落している。今週は 26 日に非常事態宣言の発令で 1 月から停止していた連邦議会が再開されるほか、28 日には 6 月の貿易統計が発表される予定。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。